**卒論チェックシート**

学籍番号 6535059U 氏名 　福田　諒也

# 目的

卒論本文に関して，以下の項目１）～５）に関する記述が必要です．５項目についての記述も卒論評価の１部とします．この卒論チェックシートを完成させ，卒論提出前に記入漏れがないことを確認してください．なお，このシートは卒論審査資料の一つとなります． 卒論と同様にしっかり完成させ，卒論と一緒に主査と副査へ提出してください．

# 提出方法

１．チェック項目について明確・簡潔に回答を記入する．また，対応記述を含む本文のページ番号を明記する（例：3 ページ，3,5,7 ページ，3-10 ページなど）．全ての項目について回答し，卒論チェックシートを完成させる．

２．完成した卒論チェックシートを，卒論を収めたファイルの最後尾に綴じる．

３．主査（１名）と副査（２名）に卒論と卒論チェックシートを綴じたファイルを提出する（従って，卒論とともに卒論チェックシートも３部用意する，卒論チェックシートの記述内容は 3 部とも同一で良い）．

# １）研究の目的・目標を明確に設定できる．（卒論評価項目１）

**[チェック項目]** 研究目的・目標を説明してください．

QRコードに画像を埋め込んだAesthetic QRコードのソフトウェア実装を目的とし

ている

本文におけるページ番号： 1

# ２）人類や社会に望まれ、貢献する研究目標を立てられる．（卒論評価項目２）

**[チェック項目]** 論文に示された研究目標が，情報工学を応用し人類・社会に貢献するものであることを説明してください．（社会との関わりなど）

誰もがAesthetic QRコードを作成することができ、貼付先を邪魔しないQRコードが

生成することができる。これにより、生成されたAesthetic QRコードの、広告や

サービス業での応用が広がる。

本文におけるページ番号： 1

（裏にもあります）

# ３）研究の目的・目標を実現するための具体的研究方法を示し、実行できる．（卒論評価項目３）

**[チェック項目]** 論文に示された研究方法の具体性や，研究目的・研究目標の達成を目指すためにどのような意味がありそのような研究方法を採用したのか説明してください．

ソフトウェア化することで、ICTに詳しくないユーザーでもデザイン性を考慮した

QRコードを手軽に生成することができる。

本文におけるページ番号： 1, 9-12

# ４）研究の内容が，情報工学技術の発展や応用に貢献するものである．（卒論評価項目４）

**[チェック項目]** 論文で示された研究内容が，情報工学技術の発達や応用に貢献するものであることを説明してください．（研究内容の新規性など）

先行研究で手法はあったものの、実際にソフトウェア化はされておらず、

アプリケーション化しやすいJava言語でソフトウェア化することによって汎用性が

得ることができると考えた。

本文におけるページ番号： 1, 9-12

# ５）卒業論文，卒業論文発表において，卒業研究の目的・目標，研究方法，研究成果が論理的に述べられる．（卒論評価項目６）

**[チェック項目]** 論文で示された研究成果について説明してください．

先行研究であったKuribayashiらの手法をソフトウェア実装し、QRコードの利点で

ある誤り訂正に強いことを損なわず、デザイン性を持たせることができた。

本文におけるページ番号： 1,9 -12

**[チェック項目]** 卒業研究の目的・目標，研究方法，研究成果がどのような章立てで述べられているか説明してください．

1章では本研究の目的とその概略を説明している。2章ではQRコードの概要やRS符号

について記載している。3章はAesthetic QRコード、ランダム法、色変換手法について

記載している。4章は実験内容と結果を記載している。最後に5章で結論を述べている。

以上